



いつだって 必ず誰かが そばにいる!

被害者支援通信



物語り(ナラティブ)のすすめ

弘前大学名誉教授 (臨床心理学 / 社会心理学)
公益社団法人あおもり被害者支援センター理事

豊嶋 秋彦



数年前から、弘前や青森でバス停アナウンスの後に流れる CM 放送に《ものがたり》という言葉が聞かれるようになりました。リンゴ農園や保育園の CM で、「一人ひとりのものがたりを大切に」、「すべてのものがたりは〇〇から」というフレーズです。これらの CM コピーのオリジナルの制作者は、ナラティブ (訳語は「物語り」、ストーリーのことである) という考え方を知っているなと思います。

医療界では 1998 年アメリカで、医学書『ナラティブベースド・メディスン』が出版されて以来、エビデンス重視の医療を補うもう一つの医療として、我が国でも注目されるようになりました。それは、病気・症状を巡る患者の語りを医療者が傾聴共有しながら、対話を通して病気・症状の解決に向けたストーリーを共に編んでいく「物語りと対話に基づく医療」です。人文・社会系の研究領域や心理 (精神) 療法の世界では、医療界よりかなり早くからナラティブ (物語り) の重要性に気づき、他者や社会・文化の深い理解と、問題の改善とに役立ててきました。そして、人生も、生きてきたことの物語りに他なりません。

犯罪被害や DV 被害、いじめやパワハラ被害といった被害に限らず、過去から引きずっている苦しさ、恐怖、心配事、心が折れる体験、トラウマになっている記憶などのネガティブな想いを、一人頭の中に抱えモンモンしていると、せいぜいが堂々巡りで、多くは、混乱が増し、つらさが増殖氾濫し反乱を起こします。逆に、それを少しずつ語り繋いでいくと、自分に納得のいく一つのストーリー、つまり納得のいくナラティブとしてまとりをみせてきます。そのとき、ネガティブな想いや体験は整理されるだけでなく、新しい意味づけ、新しい解釈で、いわば上書きされ混乱から抜け出せます。こうなって始めて、ネガティブな想いは、過ぎたこととして呑みこむことができますし、心の中の収納庫に収まっていきます。現在からの再出発も、同様に、再出発についてのストーリー、つまり、再出発についてのナラティブ作りが、再出発の脚本となります。

ただ、適切なナラティブを独力で作っていくのはなかなか困難です。せつかく独力で作ったナラティブが、自分をいっそう傷つける自己破壊的なストーリーになってしまうことの方が多いものです。自分に寄り添ってくれ、話したいときに傾聴してくれ、語りを少しづつ引きだしてくれ、つらさを共有してくれる人がいると、過去から引きずっているネガティブな想いも、再出発の脚本も、ポジティブなものにまとまっていきます。もうお気づきでしょうか、それがカウンセリングなのです。

被害に遭うと、一緒に、そのつらさを他の人に言ってもスルーされたり、逆に非難されるのではないかとといった不信・疑惑に襲われます。また、サポートを求めて他の人に相談すると、それまで耐えてきた心のハリと自己肯定感・自尊心が傷つくし、耐えがたいつらさ苦しさを抱える自分があることに直面せねばならぬ苦しさも加わって、いっそうつらさが増す不安・恐怖も感じます。「いじめられたらちゃんと言うんだよ」と私が言ったら、「言うともじめになるから絶対言わない」と答えた小学校高学年の女子がいましたが、相談へのためらいや抵抗の本質を見事に言い当てています。

しかし先述の通り、語らないでの堂々巡りや自己破壊的なストーリーに陥らないためには、思い切って適切な機関に相談することです。当センターは、呑みこみと再出発のための物語り作りをサポートしますし、それだけではなく、相談する前には思いもよらなかった打開のみちと使える制度をアドバイスしますし、「心の寄り添い」だけでなく、例えば裁判に同道し付き添うといった「行動での寄り添い」も行っています。

蛇足ですが、バスに乗るのは車を運転しないから、というより、そもそも無免許だからです。若いころは金がなく、大学に赴任してからは、夜 10 時に帰宅できるのは稀といった有様で時間がなく、「街に住んでるから特に不自由ないし、排気ガスと CO2 出してドウスンダー」との思いもあってのことですが、仕事の方は、常に複数作業を平行して抱えていたお陰で、自分のペースで自分で切り替えてやっていけたので長時間労働ストレスからも自由でした。こういった納得の仕方も、実はナラティブなのです。

■相談業務に携わる方々のための公開講座 2016

「性暴力被害の影響を理解する」～多種連携の必要性～と題し、10月23日(日)アピオあおもりで秋田大学大学院医学系研究科教授である米山奈奈子氏を講師に招き、相談業務に携わる県内の54名が参加し開催された。

性暴力の加害者の動機だが性欲、攻撃、支配欲、優越感、男性性の誇示等があり、加害者は「言うことを聞きそうな人・子ども」を意図的に選び、自分の都合のよい状態を作り出す努力をしているという。サイバー暴力、ネット社会での性暴力も増えており、子どもたちへのインターネットの使い方、安全性、犯罪被害にあわない予防教育が重要であると説いた。



援助者として「私が聞いてもいいのだろうか」「興味本位だと思われやしないか」という不安や緊張が付きまとい、その戸惑いや不安な事を言葉にして適切に被害者に伝えることで、自分の感情を認知しにくくなっている被害者も次第に安全に自らの感情を認知できるようになり「聴くことしかできない」のではなく「聴くことができるんだ」と思って支援してほしい。講義の最後に援助者として大切なこととして、・被害の性質を知る・被害が与えることに関する知識を得る・被害者に再被害を与えないように心がける・援助者自身のセルフケアを心がける・援助者自身が孤立しないこと・関係者とネットワークを作り連携する・被害者の意向に沿った支援をともに考え、伴奏者の姿勢を保つと結んだ。

講義後グループワークに移り、「成人女性への時間が経った性暴力被害への対応と連携」「子どもの性暴力被害への対応と連携」の二つのテーマに分かれ話し合った。どちらにも共通しているのは「傾聴」で、子どもの性暴力の対応については、七戸の児童相談所の職員の方が現在子どもへの事情聴取の際何回も同じことを聞かれることの負担を軽減するためビデオリンク方式で、一回で多職種が同時に聞く事ができるようにしようと模索中だと話された。

また当センターの支援内容、弁護士相談、臨床心理士、裁判所への付き添い支援を行っていることを話すと、「初めて知りました、色々やっているんですね」と感想を述べ、もし対象となる電話相談があった場合、情報提供と連携を約束され、あらためて連携の必要性をグループで共有した。

■犯罪被害者等支援県民フォーラム

青森県被害者支援連絡協議会とあおもり被害者支援センターは平成28年11月1日、青森市の県民福祉プラザにおいて「犯罪被害者等支援県民フォーラム」を開催しました。

第一部の基調講演では、「関越高速ツアーバス事故」事件で妻を亡くした林稔さんが講演しました。林さんの妻は実家に帰省するためツアーバスに乗って事故に遭い、同乗していた長女も大怪我を負いました。被害者にとっては「単なる事故」ではなく「被害者の人生を狂わせる大事件。肉親を亡くすことで家族の生活が激変する等」述べました。

第二部では、中高生による「命の大切さを学ぶ教室」感想文コンクール表彰および作品発表が行われました。

第三部では、癒しの音楽・青森県警察音楽隊により、「糸」「花は咲く」「花束を君に」の演奏がおこなわれました。

青森県警主催の感想文コンクールにて、中学校の部・高校の部で金賞を受賞したお二人の作品を同封しております。

■相談業務について

平成28年は支援要請が増え、とくに夏以降は性暴力や重大な交通事故の被害相談が多くなりました。7月からの半年間の相談件数を前年度と比較すると60%増えている状況です。

支援チームが編成され、面接相談から各支援へ繋がり、短期では数ヶ月程の活動になります。中には一年以上の長期支援になる場合もあります。支援に携わる立場から、一緒に活動できる仲間が増えることを期待しています。

現在6期生が、2年間の養成講座の修了に向け最終ステップに取り組んでおり、桜が実を結ぶころ業務に就くこととなります。7期生は1年後をめざしております。

また、春には養成講座8期生の公募を予定しておりますので、自薦・他薦を問わず、ご応募の程よろしくお願いたします。

■キャンペーンの報告

※ご来場の方々へ、チラシ・リーフレット・ティッシュ等を配り、広報活動をしました



☆会場に「いのちのパネル展」を設け、ご覧いただきました。



☆募金もして頂きました。



☆いのちのパネル展を見ていただいた方へ対応しました。



☆親子で防犯クイズに答えていただきました。



☆11月25日～12月1日が「犯罪被害者週間」と定められています。

☆イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日、イオン青森店で買い物をした時に受け取る黄色いレシートを「あおもり被害者支援センター」の専用ボックスに投函すると、金額の1%が当センター被害者支援に寄付されます。



よろしく
お願いいたします!

公益社団法人
あおもり被害者
支援センター
はここ!

皆様のご支援、ご協力をこころより感謝申し上げます
ご厚意は大切に活用させていただきます (平成28年度)

賛助会員 (法人・団体) 会員

(敬称略・順不同)

青森地区

青森朝日放送(株)
(公社) 青森観光コンベンション協会
在日大韓民国民団
(株) 青森銀行
(一社) 青森県安全運転管理者協会
(公社) 青森県医師会
(公社) 青森県看護協会
青森県警察本部捜査第一課互助会
(一財) 青森県交通安全協会 青森交通安全協会
青森県交通安全母の会連合会
(一社) 青森県指定自動車教習所協会
青森県自動車整備協同組合
(一社) 青森県自動車整備振興会
青森県自動車整備青森協議会
青森県トラック協会青森支部
(公社) 青森県バス協会
青森県遊技業協同組合
(社福) 青森市社会福祉協議会
青森総合警備保障(株)
青森地区公益事業連絡協議会
青森マツダ自動車(株)
青森南警察官友の会
青森ワシントンホテル
(有) アメニロード
(有) 石田自動車
いすゞ自動車東北(株)
栄作堂本店
(株) 鳳志興業
(株) カネマツ 青森支店
北方商事(株)
(株) 国際ホテル
(株) サンエイ
(有) 産経新聞社 青森支局
(有) 青陽
タイトードリンク(株) 東北第二営業部
(株) たいよう共済青森支店
簡東邦商会 パチンコスモ 青松慶一
東洋建物管理(株)
(社福) 特設福祉サービスセンターおきだて
(医法) 白鷺会まちだ内科眼科クリニック
(株) 番地銘石

東日本電信電話(株) 青森支店
平内地区交通安全協会
藤林電気(株)
(株) 北大 青森店
ホテル青森
みちのくキャンティーン(株)
(株) みちのく銀行総務部
ヤマト運輸(株) 青森主管支店
サトウモーター(有)

弘南地区

(一財) 愛成会弘前愛成会病院
(株) 朝日会館
アップルウェブ(株)
NPO法人 あいねっと
(株) キング
黒石警察友の会
黒石地区交通安全協会
猿賀神社
津軽警備保障(株)
(株) 津軽新報社
東興信用金庫
原田ペンディングサービス
弘前ガス(株)
弘前警察官友の会
弘前交通安全協会
(一社) 弘前自動車協会
弘前商工会議所
弘前地区安全運転管理者協会
弘前地区安全運転管理事業主会
弘前露店商業組合
(株) ミナミPクラブ 南幸三
(株) ムジコ・クリエイト
(有) タムラオートサービス

西北五地区

板柳警察友の会
板柳地区安全運転管理事業主会
板柳地区安全運転管理者協会
(株) 伊藤 鈺 工業
(有) 稲垣整備工業
齋勝建設(株)
(株) 斉藤運輸

(有) 斎藤新聞店
(社福) 一真会さくら保育園
(株) サン・コーポレーション
つがる警察官友の会 事務局
つがる地区交通安全協会
渡部胃腸科内科 渡部 司
(有) マル五衛生社

三八上北地区

青森県自動車整備三沢協議会
石田歯科医院 石田 修一
パソコエス 錠一アソコ 様 地盤工務
(社福) 木崎野福社会 おおぞら保育園
(株) 御菓子のみやきん
(株) 金入
五戸警察友の会
五戸ライオンズクラブ
三戸警察官友の会
七戸警察友の会
七戸地区安全運転管理者協会
七戸地区安全運転管理事業主会
七戸町防犯協会
下田タウン(株)
太子食品工業(株)
(有) 高橋電子製作所
田中建設(株)
(社福) 長老会(特養) 長老園
(株) デーリー東北新聞社
(株) 東北企画
(株) 十和田中央モーターズスクール
日本原燃(株)
(株) ニューテック
野辺地警察友の会
五戸ロータリークラブ
七戸地区少年補導協力員会
八戸中央法律事務所
野辺地地区安全運転管理者協会
野辺地地区安全運転管理事業主会
橋本電気工業(株)
八戸警察友の会
(一社) 八戸自動車協会
八戸地区交通安全協会
(株) 八戸電工

八戸ライセンススクール
(一財) 八戸陸運賛助会
三沢警察友の会
三沢市商工会
三沢地区安全運転管理事業主会
三沢地区自動車協会
(株) みどり
(株) 三村興業社
三八五オートスクール(株)
三八五交通(株)
むつ小川原石交備蓄(株)
(株) 山村総本店
(株) ユニバース
六ヶ所原燃警備(株)

下北地区

(有) 東出水道設備
協同印刷工業(株)
むつ警察友の会
むつ地区安全運転管理者協会
むつ地区安全運転管理事業主会
米沢ガス興業(株)
リサイクル燃料貯蔵(株)

外ヶ浜地区

外ヶ浜警察友の会
外ヶ浜地区防犯協会

岩手県

(株) アキヤマ

東京都

(社福) 東京愛成会

賛助会員 (個人) 会員

(敬称略・順不同)

阿保良三
相坂達敏行
安達保耀子
阿内文修
天十嵐文明
五池田英俊俊
石井淳夫(石井医院)
石井豊子
石塚雄毅
市川智之達
一戸

一戸 藤子
伊藤 正
今井 高志
伊丸 岡 博 昭
岩 浦 友 猛
浦 谷 友 子
江 戸 名 郎
姥 戸 志 均
太 田 泰 孝
太 田 洋 子
大 船 綾 子
大 水 ち づ 子

大村清志
小笠原修平
岡山内誠一
小山田祐介
小田桐勝行
小田桐雄一
小田桐智明
角田智哲治
加藤村忠徹
金村善忠
加福善貞

釜石 充
木村 武彦
木工 八
工藤 昭
古川 重
倉内 惠
今藤 義
近藤 喜久
齊藤 重 宏
光

皆様のご支援、ご協力をこころより感謝申し上げます
ご厚意は大切に活用させていただきます

賛助会員(個人) 会員

(敬称略・順不同)

齊藤 直子	藤本 直忠	志 弘	高竹 志	森内 弘	正 尚	志 寛	芳成 成	賀田 成	延 貞	聡子 晋	成古 晋	田 山	美 津	奈 津	子 敏
坂本 直	木 喜	志 弘	竹立 直	内本 喜	尚 和	寛 之	成 成	田 田	貞 俊	晋 孝	古 三	山 浦	奈 昭	津 公	敏 子
佐藤 正	藤 哲	明 昭	立 田	石 中	和 寿	之 巨	成 成	田 田	俊 博	文 人	三 三	上 上	昭 義	公 輝	子 子
佐々木 幸	山 幸	昭 子	田 玉	中 端	一 政	弥 仁	成 成	田 澤	壽 壽	存 一	三 三	谷 谷	義 輝	輝 尚	行 彦
下白 敦	濱 敦	志 守	寺 玉	熊 嶋	謙 正	彦 一	西 丹	羽 羽	健 真	琴 美	南 最	上 上	尚 多	尚 多	志 子
菅 杉	沼 山	夫 肇	寺 東	海 内	佐 新	友 子	沼 橋	館 本	真 尚	人 朋	最 森	川 井	知 生	知 生	之 一
鈴 須	山 木	夫 肇	飛 飛	澤 地	智 佐	也 満	原 平	谷 田	雅 有	之 志	柳 山	内 口	敏 次	敏 次	文 義
相 相	馬 田	郎 治	米 富	岡 島	拓 美	身 子	福 福	岡 土	清 清	人 勲	山 山	崎 田	惠 紀	惠 紀	子 一
其 其	田 橋	完 一	豊 長	村 村	佐 義	康 人	藤 藤	田 田	昭 幹	彦 彦	山 山	本 本	俊 一	俊 一	廣 雄
高 高	松 中	直 子	中 永	山 山	勝 勝	弘 弘	藤 藤	林 川	正 憲	正 也	山 山	田 田	卓 卓	卓 卓	覺 巧
橋 田	橋 中	嗣 紀	七 奈	岡 岡	裕 裕	志 志	古 堀	江 田	真 睦	久 春	吉 吉	本 本	由 由	由 由	江 江
高 高	橋 中	稔 郎	奈 奈	良 良	め 元	み 樹	本 松	井 田	正 志	織 織	若 匿	田 田	5 5	5 5	名 名

寄付 (法人、団体、個人)

(敬称略・順不同)

(一財) 青森県警察協会	大友久美子	田村悦夫	むつ警察署総務課
五十嵐文明	木下綜合法律事務所	千島卓	むつ警察署警備課
五十嵐草子	古川恵子	十和田警察署	最上多恵子
イオン青森店	齊藤淳高	中村井学	吉田名
石田勝也	櫻田高	藤田均	匿 1 名
㈱工スタディ	外ヶ浜警察署	細田	
㈱尾形精肉店	七戸警察署総務課	(医)松会松尾医院	

支援自動販売機を置いていただきありがとうございます

支援自動販売機設置 (法人、団体)

(敬称略・順不同)

青森県警察本部	十三和田警察署	法務局弘前支局	児童養護施設弘前愛成会
運転免許センター	沢警察署	法務局五所川原支局	弘前愛成会病院労働組合
弘前運転免許試験場	むつ警察署	青森地方検察庁	養護老人ホーム弘前温清園
県警察機動隊	野辺地警察署	NPO法人あいねっと	東日本不動産ガーデン広野
県警察学校	三戸警察署	アメリロード	深浦駅前ホール
県警察学校本館	青森南警察署	石田自動車	ベイ薬局
青森警察署	外ヶ浜警察署	黒石あけぼの病院	㈱前田観光タクシー
八戸警察署	五戸警察署	(㈱)コモン	㈱マツダレンタカーみちのく青森
弘前警察署	板柳警察署	白鳥プロパン	ワタナベサービス(㈱)
五所川原警察署	大間警察署	白鳥プロパン南佃店	
五所川原警察署金木分署	青森警察署平内交番	タイムズカーレンタル	
黒石警察署	法務局八戸支局	ドラゴンキューブ	
		(㈱)番地銘石	

■ 被害者支援自販機設置

設置場所の提供をしていただける企業・団体を募集しております (自販機設置の新規・置き換え費用は無料です)。



売上金の一部は犯罪被害に遭われた方々への支援として寄付されます。



ご不明な点は事務局にご連絡下さい

■ 本のご寄付のお願い



ホンデリング

～本でひろがる支援の輪～

あなたが読み終えた本のご寄付で、犯罪被害に遭われた方々への支援の輪が広がります。



読み終えた (ISBNコードのある) 本
5冊以上
↓
申込書と一緒に段ボール・袋につめる
↓
ValueBooksにご連絡下さい
(0120-826-295)
↓
集荷に伺います
(送料無料)

犯罪被害に遭われた方々への支援活動に活用
買取金額の寄付

事務局：TEL 017-718-2085 FAX 017-718-2098

■ 賛助会員を募集しています

当支援センターは皆様の賛助会費や寄付金、助成金等によって運営されております。活動に賛同していただける賛助会員を募集しています。

- ・法人・団体 1口 10,000円 (何口でも可)
- ・個人 1口 3,000円 (何口でも可)
- ・寄付 金額の定めはありません

賛助会費や寄付金のお振り込み先

- 青森銀行 県庁支店 普通 1046100
- みちのく銀行 青森支店 普通 2026608
- 郵便局 口座記号番号 02210-6-133553
- 振込先名称 (社)あおもり被害者支援センター

事務局へご連絡ください。振込手数料のかからない指定振込用紙を送付いたします。

当センターへの寄付金は、公益法人に対する寄付として優遇税制が適用されます。

■ 相談電話

犯罪や交通事故被害 **017-721-0783** ぜろひやみ

月・火・木・金 午前10時から午後5時まで
水曜のみ 午前10時から午後8時30分まで (年末年始、祝日を除く)

りんごの花ホットライン (性暴力被害) **017-777-8349** りんご

無料・秘密厳守

月・水 午前10時から午後9時まで
火・木・金 午前10時から午後5時まで (年末年始、祝日を除く)

■ 事務局

青森県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人あおもり被害者支援センター

〒030-0822 青森市中央3丁目20番30号 県民福祉プラザ3階

TEL: 017-718-2085 FAX: 017-718-2098

URL <http://www.aomori-vs.com> E-mail info@aomori-vs.com

■ 被害者支援自販機設置

設置場所の提供をしていただける企業・団体を募集しております (自販機設置の新規・置き換え費用は無料です)。



売上金の一部は犯罪被害に遭われた方々への支援として寄付されます。



ご不明な点は事務局にご連絡下さい

■ 本のご寄付のお願い



ホンデリング

～本でひろがる支援の輪～

あなたが読み終えた本のご寄付で、犯罪被害に遭われた方々への支援の輪が広がります。



読み終えた(ISBNコードのある)本
5冊以上
↓
申込書と一緒に段ボール・袋につめる
↓
ValueBooksにご連絡下さい
(0120-826-295)
↓
集荷に伺います
(送料無料)

犯罪被害に遭われた方々への支援活動に活用
買取金額の寄付

事務局：TEL 017-718-2085 FAX 017-718-2098

■ 賛助会員を募集しています

当支援センターは皆様の賛助会費や寄付金、助成金等によって運営されております。活動に賛同していただける賛助会員を募集しています。

- ・法人・団体 1口 10,000円 (何口でも可)
- ・個人 1口 3,000円 (何口でも可)
- ・寄付 金額の定めはありません

賛助会費や寄付金のお振り込み先

- 青森銀行 県庁支店 普通 1046100
- みちのく銀行 青森支店 普通 2026608
- 郵便局 口座記号番号 02210-6-133553
- 振込先名称 (社)あおもり被害者支援センター

事務局へご連絡ください。振込手数料のかからない指定振込用紙を送付いたします。

当センターへの寄付金は、公益法人に対する寄付として優遇税制が適用されます。

■ 相談電話

犯罪や交通事故被害 **017-721-0783** ぜろなやみ

月・火・木・金 午前10時から午後5時まで
水曜のみ 午前10時から午後8時30分まで (年末年始、祝日を除く)

りんごの花ホットライン (性暴力被害) **017-777-8349**

無料・秘密厳守

月・水 午前10時から午後9時まで
火・木・金 午前10時から午後5時まで (年末年始、祝日を除く)

■ 事務局

青森県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人あおもり被害者支援センター

〒030-0822 青森市中央3丁目20番30号 県民福祉プラザ3階

TEL: 017-718-2085 FAX: 017-718-2098

URL <http://www.aomori-vs.com> E-mail info@aomori-vs.com